



農林水産省支援 平成22年度 農商工等連携促進対策中央支援事業

6次産業化推進に向けたコーディネーター人材育成研修～連続開催(東京)～

<第2回> 農商工等連携における 地域ブランドの構築

～成功が持続するコンセプト&シナリオの作成～

日時：平成22年11月18日(木)
13:00～17:00

場所：日本橋プラザ 3階 第3,4会議室
(東京都中央区日本橋2-3-4)

【研修の狙い】

昨今、農商工連携や食農連携、6次産業化など、食をととした地域活性化を目的とした取り組みが、全国各地で推進されています。

いずれも、『連携』をキーワードとした取り組みで、これらの成否は、事業を実施する生産者や事業者の努力と共に、その活動をフォローし、取り組み全体をコーディネートするコーディネーターの手腕にかかっているといえるでしょう。

食をととした地域活性化に取り組むコーディネーターには、生産から小売までフードチェーン及びその他関連業種に対する知識、地域文化や歴史に対する認識、行政施策の情報等、幅広い視野を有した戦略的なコーディネートが求められているといえます。

(社)食品需給研究センターでは、コーディネーターの持つべき視点を一連の流れとしてご理解いただき、地域において実践していただくことを目的とし、東京において全5回のシリーズ研修を行っております。

この度、(社)食品需給研究センターでは、農林水産省の平成22年度「農商工等連携促進対策中央支援事業」の一環として、食をととした地域活性化に取り組むコーディネーターを対象に、全5回のシリーズ研修を行います。

研修第2回目は、「農商工等連携における地域ブランドの構築」をテーマとした研修を行います。講義では、地域ブランドの構築、地域ブランドの管理、ブランドコミュニケーションについて学び、実践研修では、講義での内容を踏まえ、成功が持続するコンセプト&シナリオの作成を行います。

【当日のプログラム】

閉会 13:00～13:05
プログラム、講師紹介

講義 13:05～15:10

(1)農商工等連携における
地域ブランドの構築

【講師】株式会社ブランド総合研究所
代表取締役社長 田中 章雄 氏

ブランド戦略、地域ブランドの構築のスペシャリストである講師が、農商工等連携における地域ブランドの構築とは何か、地域資源を活用したブランド構築、ブランドの管理、ブランドコミュニケーションについてのポイントをお伝えします。

<休憩> 15:10～15:20

実践研修 15:20～17:00

(2)成功が持続する
コンセプト&シナリオの作成

ブランド戦略には、具体的なアクションや企画を結びつけ、効果の高い戦略を実現することが不可欠です。ここでは、地域ブランドへの取り組みを戦略化するためのポイントとなる商品、市場、消費者の3つの視点をもとに、成功が持続するコンセプト&シナリオの作成を行います。

閉会 17:00 <アンケート回収>

主催：(社)食品需給研究センター 後援：関東農政局

■実践研修進行方法

進行説明

進行説明 (15分)

講師より、実践研修の進め方、注意すべきポイントなどについて説明を行います。

自己紹介 (5分)

1グループ6～7名です。決められたグループのテーブルに着席し、各グループのメンバー同士、1人当たり1分弱を目安に、簡単な自己紹介を行います。

事例説明 (10分)

各グループの事例提供者より、今回事例とするプロジェクトの概要についての情報を提供します。

グループワーク (40分)

アウトプットの作成 (15分)

事例提供者からの話をもとに、これまでに何を行ったかを、人材・組織面、製造面、販売・情報面、管理面に分けて、それぞれ具体的に抽出、アウトプット作成フォームに記入します。その際、実際に実施した数量や参加人数なども書き込むようにします。また、短期的なアクションだけではなく、長期的な取り組みについても記入します。

アウトカムの作成 (20分)

次に、それらのアクションによる効果をまとめ、アウトカムの一覧表に記入します。直接効果とは、具体的な売り上げ・収益につながるものです。あれば具体的に金額まで記入します。間接効果とは、そのアクションの波及効果として考えられるものです。これも具体的に金額まで記入しますが、どれくらい影響度があるのかを「その他」の欄に記入します。そして情報発信やイメージアップなどのブランド効果をピックアップします。これらも金額で測定できるものは金額で、それが不可能な場合は数値で書き込みます。最後に、組織や参加者、事業者、地域住民などの意識向上や学習などへの効果も同様に記入します。

内容の精査 (5分)

グループで出し合った内容を再度見直し、確認を行います。

グループ発表&講評 (30分)

各チームから取りまとめた内容の発表を行い、それに対し、講師からの講評をお伝えします。また、最後に地域ブランド構築の参考になる取り組みについて、講師よりご紹介をいたします。



グループワーク (シナリオの作成)

グループ発表

講師の紹介：田中 章雄(たなか あきお)

<食農連携に関連した講演等の実績>

1. 地域ブランド構築法(地域ブランドの基礎的な内容)
2. 事例で学ぶ地域ブランドの成功法則(事例紹介、基礎編)
3. 地域資源を活用したブランド戦略
4. 商品の魅力の伝え方(コミュニケーション、演習が多い)
5. ブランドリスク管理(一日でブランドが失墜しないために)
6. 知的財産の管理と地域団体商標(仕組みと活用法)

<食農連携や地域活性化に対する想い>

地域の活性化にとって、食と農の連携は不可欠です。各地域にしかない農作物、水産物、産品、歴史、資源などの魅力を活用して、いかに地域の活性化につながるような仕組みを構築するか。キーワードは商品化と観光化。長期的な戦略の中で、小さな成功を積み重ねることを目指しましょう！

詳しくは、食農連携コーディネーターバンクをご覧ください

<http://www.fmric.or.jp/facobank/index.html>

研修当日のお願い

- ・研修の様子を写真に撮らせていただき、事業報告書やホームページでの報告などに掲載させていただきますので、ご了承ください
- ・研修終了後、アンケートのご提出にご協力をお願いします。